



つながるっていいね!



ファミサポっていいね!

TAKAMATSU
ファミサポ通信

第35号

2024.1月発行

地域で育てる子育て支援

たかまつファミリー・サポート・センター

活動紹介



「お手間なのに、『今、ごはんを食べました』など、娘の様子を時折連絡してくださるんです。」武島さんの細やかなサポートに感謝の声が続きます。そんな二川さんの言葉を、目を細めて聞く武島さん。「数時間預かることで、『本当に助かりました』と言ってくくださるお母さんの言葉がとても嬉しいです。私が少しお手伝いすることで、若い方々の子育てが少しでも楽しいものになったら嬉しいです。私は第3のおばあちゃんのご感覚です。」と朗らかに語りました。

おねがい会員の二川さんとまかせて会員の武島さんとの出会いは1年3ヶ月前、結心(ゆな)ちゃんのお兄ちゃんである煌福(おうふく)ちゃんを、二川さんが病院を受診する時に預けたことに始まります。無事に出産した後に、生後7ヶ月になった結心ちゃんもお願いするようになりました。「美容院に行きたい時など、月に2~3回、自分一人の時間を持ちたい時にお願いしています。武島さんは『リフレッシュしてきてね』と快く送り出してくださるので、とてもありがたいです。」と二川さん。引越しをされ、家が遠くなった後も武島さんをお願いするほど、武島さんは頼れる存在です。



広報高松の取材を受けました。和やかに目を見合わせて、受け答えされる様子は仲睦まじく、『互いに信頼されている様子』が伝わってきました。

おねがい会員になって思うこと

おねがい会員

二川 真衣さん・結心ちゃん

(7カ月)

第一子の時は特に、預けることに対して抵抗がありました。お友達が「ファミサポを利用しているよ」と教えてくれたから、やっと登録の電話をかけられたことを覚えています。武島さんとも、息子を想ってくださる優しさにふれ、少しずつ信頼関係を築いていきました。今では母親ぐらゐのご感覚で、いろいろなことを相談させてもらっています。私は頼れる存在に出会えてよかったので、「もっと気軽にファミサポの利用を」と伝えたいです。

まかせて会員になって思うこと

まかせて会員

武島 容子さん

友人に勧められて養成講座を受講しましたが、自分のできるのかなど不安でした。最初は送迎だけのサポートから始めて、少しずつ慣れていきました。1対1の関わりは得意ではなかったのですが、お子さんに関わるうちに、受け入れてくれる瞬間があり、とても楽しくなってきました。やめられなくなりました。子どもたちと一緒に過ごした時間は宝物になっています。若い方々が子育てを楽しむためにも、このファミサポの仕組みがもっと広まっていけばいいなと思います。